

## 【世界の水】

千葉県 翔凜中学校 二年 飯塚 楓

水、これは私達が生きるために必要とされるものです。

また、この水というのは世界中にあり、ないものでもありません。私達人間は常に体の中に水分があり、少しずつ体の外へと出していきます。なので必ず水分補給が必要です。今、日本には人々が飲める水がありません。というより、飲める水があるのが私たちにとっての当たり前になっています。ですが、その当たり前は世界中の当たり前ではありません。蛇口もなく川などに行つてやつと手に入れた水が命と未来を奪う水になつてしまふのです。もし、綺麗な水ではなく泥水だとしてもその水を飲むしかないのです。私達が中学生まで普通に飲んでいてるけれども同じ子供がその様な泥水を飲んでると考えるととても怖くなります。でも、運良く日本に居るからいいけど飲み水が汚い所に生まれていたらどうなつていいのか、今も生きてるのかなど不安になります。しかし、今、世界でそのまま飲める水があるのは世界で9カ国しかないと知りました。日本に住んでいるからかも知れませんが、水はいつもどうやつて私達まで届いているのか、飲める水が少ない国々との違いは何なのかなど多くの疑問が浮かびました。私達が蛇口から飲むまでには浄水場や多くの気管を通り家庭に届いていました。つまり私達の手が届くまでに色々な作業が知らないとこで行われ、たくさんの人々が多くの水を必要とする人々の為に働いてくれていると知りました。だから日本も飲める水ではあるが、そこまでたくさんさんの過程があります。水道水が当たり前のように飲める理由は水道法によって水道の水質基準が守られているからだったのです。日本の水道水が飲めるまでにやっている多くの過程では定期的に約二百種類もある検査を行つていたり、浄水場という施設で水の汚れを取り除かれたりしています。こうした厳重な検査を行い水道施設を完全に整えているからこそ日本の水道水は安心して安全なのです。

そうとなれば、飲めない水がある国は日本と同じように厳重な検査や

浄水場での検査を行えばいいのにと思いました。では、なぜ水道水が飲めない国が多いのか、その原因は主に国土の面積やコスト面の問題です。日本のように小さな国ではインフラ整備を進めやすいですが、大きな国は時間や費用もかかり簡単ではないことが分かりました。飲める水を作るには日本のように水に含まれる不純物や細菌などを完全に消し去る浄水処理をする必要があります。しかしこれらの処理には高度な技術と莫大なコストがかかつてしまうのです。また、発展途上国では水道自体がない国も珍しくありません。それだけでなく深刻な水不足に悩まされているケースも沢山あります。

水というのは世界で水道水が飲めない国からしたら、とても貴重なんだと知りました。日本人にとって水道水が飲めることは当たり前となつてしまつていますが、日本もいつ水不足が深刻になるか分かりません。常に水道水が飲めることに感謝して、水を大切にしていかななくてはならないと思いました。